

令和5年度第3回富里市国民健康保険運営協議会会議録（要旨）

招集年月日	令和6年2月8日（木）		
招集の場所	すこやかセンター2階会議室2		
開会・閉会の時間	開会 令和6年2月8日 13時55分 閉会 令和6年2月8日 14時35分		
◎会長 ○会長職務代理	氏名	出欠等の別	届出の有無
	◎中川 光男	○	
	○小沼 綾子	○	
	加藤 雅子	○	
	葛西 直子	○	
	北林 公明	○	
	吉田 明美	○	
	我妻 道生	○	
	内田 啓二	○	
	湯浅 恵美子	○	
	廣中 篤	欠席	有り
会議録署名委員	中川 光男		
説明のため出席した者の職氏名	国保年金課長	大塚 謙二	
	国保年金課主査	水越 知子	
	国保年金課主査補	西岡 紗知	
職務のため出席した者の職氏名	健康福祉部長	藤田 明美	
会議に附した事件	別紙のとおり		
会議の経過	別紙のとおり		

令和5年度第3回富里市国民健康保険運営協議会会議次第

日 時 令和6年2月8日（木）

午後2時～

場 所 すこやかセンター2階会議室2

1 開 会

2 市長あいさつ

3 議題

(1) 令和6年度富里市国民健康保険事業計画（案）及び令和6年度富里市国民健康保険事業実施計画書（案）について

(2) 富里市国民健康保険第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画（素案）について

4 その他

(1) 令和6年度富里市国民健康保険特別会計当初予算について

(2) その他

5 閉 会

次第3 議題

議題(1) 令和6年度富里市国民健康保険事業計画(案)及び令和6年度富里市国民健康保険事業実施計画書(案)について

事務局 資料1-1、1-2により説明

- ・現状としては被保険者、高齢化率ともに減少。全体の医療費は減少傾向にあるが、一人当たり医療費は増加している。国民健康保険税の現年課税分は被保険者数の減少によって調定額、収納額とも低下している。滞納繰越分については、徴収強化などにより調定額が減少した結果、収納額も減少している。
- ・市としては、税収確保のため、平成21年度から納税課を設置し徴収対策に取り組んでおり、国保年金課としては、適正な課税、適正な保険給付などに努めている。
- ・基本方針として、歳入確保のための「収納率向上対策の推進」また、適正な歳出のための「医療費適正化対策の推進」、被保険者の健康保持増進のための「保健事業の充実」、制度改正などの「重要事項の調査研究」の4点を重点施策と定めて、その遂行に努めます。
- ・大部分が令和5年度までに既に実施しているものを継続して行う計画とした。

(賛成全員により承認)

議題(2) 富里市国民健康保険第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画(素案)について

事務局 資料2-1、2-2により説明

- ・データヘルス計画は、国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸を重要な柱として掲げ、健康・医療情報を活用し、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画である。
- ・計画の策定にあたって、各種計画と調和・整合を図り、保健事業の中核をなす特定健康診査及び特定保健指導の実施方法を定める特定健康診査等実施計画と相互に連携して策定することから、データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画を一体的に策定した。
- ・計画期間は令和6年度から令和11年度までとする。
- ・分析結果から読み取れる健康課題について、全国・県と比較して平均寿命及び平均自立期間が男女ともにやや低く、死亡割合は脳疾患、腎不全、自殺が高くなっている。
- ・総医療費は増加傾向となっており、疾病分類別の医療費は全国・県と比較して、腎不全・虚血性心疾患が高い。また生活習慣病関連疾患の医療費は、全体の約55%となっている。
- ・特定健診受診率は、令和4年度は県平均を上回ったが、約61%が健診未受診者となっている。特定保健指導実施率も、全国・県と比較して低くなっている。
- ・大きな目的として、健康寿命の延伸と医療費適正化を掲げ、健康意識を高め、生活習慣病予防や生活習慣病重症者予防、後発医薬品の普及と重複多剤投与者の改善を図っていく。
- ・保健事業については、特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上、生活習慣病予防事業、受診勧奨事業、糖尿病性腎症重症化予防事業、後発医薬品利用促進事業及び重複頻回多剤保健指導事業を重点事業として取り組む。

- ・主な戦略として、特定健診受診率向上事業では、健診未受診者へA I を活用して受診勧奨はがき実施、特定保健指導実施率向上では、特定保健指導の健診当日の実施、生活習慣病予防事業では、生活習慣病予防セミナーの参加者を増やし改善を目指すための健診結果から対象者への個別通知の実施、受診勧奨では、電話・通知・訪問などのアプローチ方法を駆使し、対象者への受診勧奨等指導の実施、糖尿病性腎症重症化予防では、協力医療機関と連携し適切な保健指導の実施、後発医薬品利用促進事業では、差額通知の実施と新規国保加入者への周知とジェネリック希望カード交付の徹底、重複頻回多剤保健指導では、関係各課当と連携し訪問による保健指導の推進を実施していく。
 - ・今後のスケジュールとして、3月6日から26日までパブリックコメントを実施する。
- 委員
- ・特定健診の受診率が低いということで、対象者に受診勧奨はがきを3回送付し、勧奨電話を実施するというのはいつから実施しているのか。
- 事務局
- ・令和元年度から実施し、令和2年度はコロナの影響で健診の開始時期を遅らせた関係で実施できなかった。令和3年度から令和5年度にかけて実施し、受診率向上の効果が出ている。
- 委員
- ・受診率が低い原因で考えられるものはあるのか
- 事務局
- ・未受診者の約4割が生活習慣病関連で定期的に受診している方となっている。その方にも受診勧奨はがきを送っているが、なかなか受診につながらない状況である。
- 委員
- ・分析したデータをどの程度市民に提供していくのか。それから健診受診者を増やしていくということだが、高齢になって健診を受けることが果たしていいことなのか。市民がそれぞれの考えで理解して行動しているなか、健康診断を受ける人が必ずしも一番健康を意識しているとは限らないのではないかと。市としてどのように導いていくのか。
- 事務局
- ・分析結果については、データヘルス計画の素案をホームページに掲載します。
- 委員
- ・それはデータとしてなのか、考察した内容も載せるのか
- 事務局
- ・計画だけを載せる。データ自体は載せない。
- 事務局
- ・データヘルス計画をホームページに掲載しますが、場合によっては計画の見方は難しくてわかりづらいといった事もあると思う。健診が始まる時期に広報でお知らせすることになるので、健診結果を分析して富里市の特徴をわかりやすく市民のみなさんに知っていただく必要があると考えている。ぜひ参考にさせていただきたい。
- 委員
- ・市民が自分の意志で健康になっていこうと、いろいろな情報を注視しながら生活していくのが一番効果的だと考える。ホームページを見ればわかるけれど、計画の存在を知って、それを見ることができるのかという問題もある。見ていただくことで、皆さんの健康意識が高まると思う。
- 事務局
- ・ホームページそのものを見る人と見ない人がいる中で、高齢層の方は広報誌には結構目を通していただいているという実態がある。有効に活用して健診受診の意志の決定につなげていければと考えている。

(賛成全員により承認)

次第4 その他

(1) 令和6年度富里市国民健康保険特別会計当初予算(案)について

事務局 資料3により説明

歳入について

- ・歳入歳出の総額は、60億7,628万4千円で、前年度比6,897万円、1.1%の増。
- ・国民健康保険税は令和5年度と比較して、現年度分は被保険者の減少によるもので、滞納繰越分については、滞納整理などによって滞納額が圧縮されていることが要因となっている。徴収率は令和5年度と同率と見込み、予算額では3,095万2千円の減額。
- ・県支出金、保険給付費等交付金(普通交付金)は、保険給付費として歳出しているものの、ほぼ100%が県から交付されるもの。令和6年度は給付費を多く見込んだことから、前年度から1億1,577万9千円の増額となった。
- ・繰入金は521万7千円の増額とした。

歳出について

- ・保険給付費、一般被保険者療養給付費から対象被保険者移送費までが先程の県支出金の普通交付金として交付される。被保険者数は減少しているが、一人当たりの給付額は大きくなっている。
- ・保健事業費は304万9千円の減額。特定健康診査等事業費を337万6千円の増額としているのは、主に保健指導の費用の増額となる。令和6年度は新たに実施率向上のため健診当日に会場において初回面談を実施するため、委託費の増額となる。保健事業費については、令和5年度はデータヘルス計画・特定健診等実施計画の策定委託料が含まれていたため、令和6年度は642万5千円の減額となった。
- ・基金積立金は、前年度の剰余金の2分の1以上を積立てる。剰余金を8千万円としていることから、半分の4千万円を積み立てる。また、預金利子を1千円見込み、予算としては4千万1千円とした。

(2) その他

事務局 ・次回会議の開催は、4月下旬から5月上旬を予定している。日程が決まり次第通知を出させていただきます

(14時35分)

・・・・・・会議終了・・・・・・